

地球に優しい 京都観光



レンタカー利用時の寄付金のうち300円が地球温暖化対策に生かす取り組みをPRする関係者（京都市南区・トヨタレンタリース京都）

旅行、リース会社企画

京都観光でレンタカーを使った人に地球温暖化対策に五百円を寄付してもらう取り組みが、二十四日に始まった。JT B西日本京都支店（京都市下京区）とトヨタレンタリース京都（南区）が連携し、市内の保育園などに太陽光発電パネルを設置する認定NPO法人（特定非営利活動法人）などの基金に贈る。

ハイブリッド車レンタルで500円寄付

太陽光発電 NPO 基金に

両社によると、こうした取り組みは全国でも珍しいという。

府内二十五カ所のトヨタレンタリースの事業所にあるハイブリッド車「プリウス」四十台の利用者が対象。JT B西日本が運営するインターネットのホームページ「京都おこしやす.com」で申し込む。

五百円のうち三百円が、境団体「京のアジエンタ21フォーラム」（伏見区）と認定NPO

法人「きょうとグリーンファンド」（下京区）が運営する太陽光発電パネル設置のための基金「おひさま基金」に贈られる。利用者にはステッカーをプレゼントする。二百円は事務運営費に充てる。

また、両社は設置したパネルで発電した電力を一部買う形で、基金に一万円ずつを寄付した。

「きょうとグリーンファンド」の事務局長を務める大西啓子さん（58）は「これまでは市内の関係者を中心に寄付を求めてきたが、これで協力の輪が広がる」と喜んでいる。